

令和4年度

学校法人爽青会

ルネサンス デザイン・美容専門学校

**【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】**

令和5年3月

学校法人爽青会

ルネサンス デザイン・美容専門学校

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

## 自己点検・自己評価委員会 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎（委員長）
2. 本部長 中野祐子
3. 副理事長 中野良太
4. 事務局課長 前田健一
5. 教務部 杉浦英樹
6. 教務部 大城陽功
7. 教務部 竹田侑里

## 監査委員

1. 鈴木博昭（専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー事務局課長）
2. 北風孝広（専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー教務部係長）

## 学校関係者評価委員会 委員名簿

1. 鳥居春仁（元静岡県立浜松北高等学校校長）
2. 上野弘道（公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長）
3. 坂元祥彦（一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事）
4. 平井伸幸（株式会社レボル代表取締役社長）
5. 望月 智（株式会社ジェットスタジオ取締役）

自己点検・評価表(2022モデル Ver. 2.1)

実施日: 令和 5年 1月 25日

学校名: ルネサンス デザイン・美容専門学校

1. 学校の教育目標

『日本人の徳性を活かし、新旧の美意識から学び、日本流・新デザインで世界の夢をカタチにする』

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【爽青会行動指針】素直に、しなやかに、朗らかに  
 【教職員行動目標】人と時代への感度を磨き、教育力を高め、真に必要とされる学校になる！！

《デザイン美容校》

- ・【基本広報戦略】ランチェスターに基づく広報戦略、早期からの職業意識定着
- ・【学科広報戦略】IL科:ゲームファン層の獲得、BTHD科:学内外の露出増加
- ・【学科運営】IL科:ゲーム・アニメ業界の人材ニーズ変化への対応、就職指導システムの確立、BT科:新設コースの運営と成果、挑戦できる学生の育成、HD科:資格予備校ではないルネサンスHD科、教育成果とコストの両立

3. 評価項目の達成及び取組状況

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)				適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1					
1 教育理念・目標				適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1					評価平均
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)						
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	4	
1	1	2	学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	4	3	2	1	4	
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	④	3	2	1	4	
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4	3	2	1	4	
1	2	中項目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)						
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	4	3	2	1	4	
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	4	3	2	1	4	
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	3	2	1	4	

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
2 学校運営					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				評価平均
2	1	中項目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか		4	3	2	1	4
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか		4	3	2	1	4
2	2	中項目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか		4	3	2	1	4
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか		4	3	2	1	4
2	3	中項目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか		4	3	2	1	4
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		4	3	2	1	4
2	3	3	組織機能図があるか		4	3	2	1	4
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか		4	3	2	1	4
2	3	21	出退勤管理簿があるか		4	3	2	1	4
2	3	22	教職員の健康診断がされているか		4	3	2	1	4
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか		4	3	2	1	4
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか		4	3	2	1	4
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか		4	3	2	1	4
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか		4	3	2	1	4
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか		4	3	2	1	4
2	4	5	全ての教員(専任・兼任)に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピテンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか		4	3	2	1	4
2	4	6	教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか		4	3	2	1	4
2	4	7	教員・講師に対して、ニーズ分析の結果に関する情報を十分に知らせているか(学生のニーズ、求人企業のニーズ等)		4	3	2	1	4

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
2	4	8	代講が必要な場合、適格な教員・講師が対応できるように手配し、当該教員・講師に授業の準備及び実施について指導しているか	4	3	2	1	4	
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	4	
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	3	2	1	4	
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	4	3	2	1	4	
2	4	24	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	4	3	2	1	4	
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	4	3	2	1	4	
2	4	31	教員・講師に対して、学習指導のための教育訓練や教材の利用についての訓練を実施しているか	4	3	2	1	4	
2	4	32	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	3	2	1	4	
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	4	3	2	1	4	
2	4	43	事務職員(学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員)は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	4	3	2	1	4	
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	4	3	2	1	4	
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	4	3	2	1	4	
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	4	3	2	1	4	
2	5	4	採用制度は文書化されているか	4	3	2	1	4	
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	4	3	2	1	4	

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
3 教育活動					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				評価平均
3	1	中項目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか		4	3	2	1	4
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		4	3	2	1	4
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか		4	3	2	1	4
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		4	3	2	1	4
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか		4	3	2	1	4
3	2	3	各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか		4	3	2	1	4
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか		4	3	2	1	4
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図っているか		4	3	2	1	4
3	2	9	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)		4	3	2	1	4
3	2	10	学習サービスの設計時に、予定しているモニタリング及び評価の手順を明確にしているか		4	3	2	1	4
3	2	11	実技・実習が講義と連動していたり、講師と学習者の比率をカリキュラム設計時に考慮するなど、効果的学習に配慮されているか		4	3	2	1	4
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)		4	3	2	1	4
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか		4	3	2	1	3.3
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)		4	3	2	1	4
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか		4	3	2	1	4
3	2	25	質保証を目的とした授業の評価にあたり、アセスメント結果(学修成果)のレビューを取り入れているか(アセスメント結果を、当初の目標と比較して評価しているか)		4	3	2	1	4
3	2	26	カリキュラムを設計又は見直す際に、過去に提供した類似の学習サービスに関する評価の結果を考慮しているか		4	3	2	1	4
3	2	41	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか		4	3	2	1	4
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか		4	3	2	1	4
3	2	43	カリキュラム設計及び開発の経験を有している、もしくは訓練を受けたファシリテーターなどが、カリキュラムの設計及び開発を担当しているか		4	3	2	1	4

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
3	2	61	学習教材は、学習内容の実際の有用性を考慮した実践的かつ最新のものであり、社会的ニーズ、文化的ニーズ及び学習者の背景を考慮して選択されているか	4	3	2	1	4	
3	2	62	少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか	4	3	2	1	4	
3	2	63	学内で使用又は開発した学習リソース(資源)の出典及び著作権について、適正に処理できているか	4	3	2	1	4	
3	2	64	教員・講師及び学習者に対して、印刷教材・電子教材の複写及び利用に関する規則について情報提供しているか	4	3	2	1	4	
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	4	
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	4	3	2	1	4	
3	2	83	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	4	3	2	1	4	
3	2	84	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	4	3	2	1	4	
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	4	
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4	3	2	1	4	
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	④	3	2	1	4	
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	4	3	2	1	4	
3	3	6	アセスメントの結果は、公平性、透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	4	3	2	1	4	
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	4	3	2	1	4	
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	4	3	2	1	4	
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	4	
3	2	42	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	④	3	2	1	4	

カテゴリ欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
4 学修成果・教育成果					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				評価平均
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか		4	3	2	1	4
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)		4	3	2	1	4
4	1	3	コースの開始前又は開始時に、学習する内容に関して学習者が有するコンピテンスのレベルについて、アセスメントを行っているか		4	3	2	1	4
4	1	4	要請があった場合には、学習者又はスポンサーに対して、a) 学習サービスの名称及び目的やb) 指導時間数、c) 達成度などの情報を含む修了証明書を提供しているか		4	3	2	1	4
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)						
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)		4	3	2	1	4
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか		4	3	2	1	4
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか		4	3	2	1	4
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)		4	3	2	1	4
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)		4	3	2	1	4
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか		4	3	2	1	4
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか		4	3	2	1	3.25
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか		4	3	2	1	4
4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか		4	3	2	1	4
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)		4	3	2	1	4



カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
5 学生支援					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				評価平均
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか		4	3	2	1	4
5	2	中項目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またはそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)		4	3	2	1	4
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)		4	3	2	1	4
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか		4	3	2	1	4
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか		4	3	2	1	4
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)		4	3	2	1	4
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか		④	3	2	1	4
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)		4	3	2	1	4
5	4	45	学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか		4	3	2	1	4
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)						
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)		4	3	2	1	4
5	5	2	退学率の目標を設定しているか		4	3	2	1	4
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか		4	3	2	1	4
5	5	4	退学者数を公表しているか		4	3	2	1	4
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)						
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)		④	3	2	1	4
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか		④	3	2	1	4
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)						

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)				適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	4	3	2	1	4
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	4	3	2	1	3
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1	4

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
6 教育環境					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				評価平均
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)		4	3	2	1	4
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか		4	3	2	1	4
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか		4	3	2	1	4
6	1	5	学習環境として外部組織が管理する施設・設備を用いる際には、必要となる最小限の要件を特定し、提示しているか		4	3	2	1	4
6	1	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか		4	3	2	1	4
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか		4	3	2	1	4
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか		④	3	2	1	4
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的または適宜行っているか		4	3	2	1	3.5
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		4	3	2	1	4
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。		4	3	2	1	4
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか		4	3	2	1	4
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか		4	3	2	1	4
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか		4	3	2	1	4
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか		4	3	2	1	4

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
7 学生の受入れ募集					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				評価平均
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか		4	3	2	1	4
7	1	2	入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか		4	3	2	1	4
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか		4	3	2	1	4
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか		4	3	2	1	4
7	1	6	学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか		4	3	2	1	4
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか		4	3	2	1	4
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか		4	3	2	1	4
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか		4	3	2	1	4
7	1	25	学習者の満足度に関するフィードバックを入手する手順、並びに彼らの要求、提案及び苦情に対応する手順など、学校生活での支援体制について入学前に伝えているか		4	3	2	1	4
7	1	26	教授資格、教歴及び背景など、授業や実習を担当する教員・講師のプロフィールについて、オープンキャンパスなどで紹介しているか		4	3	2	1	4
7	1	27	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか		4	3	2	1	4
7	1	41	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人(保護者)に案内しているか		4	3	2	1	4
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)		4	3	2	1	4
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選抜を行っているか		4	3	2	1	4
7	2	5	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか		4	3	2	1	4
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか		4	3	2	1	3.8
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか		4	3	2	1	4
7	3	4	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応しているか		4	3	2	1	4
7	3	6	学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか		4	3	2	1	4

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				
8 教育の内部質保証システム					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				評価平均
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか		4	3	2	1	4
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		4	3	2	1	4
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか		4	3	2	1	4
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか		4	3	2	1	4
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか		4	3	2	1	4
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか		4	3	2	1	4
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか		4	3	2	1	4
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)		4	3	2	1	4
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか		4	3	2	1	4
8	3	8	評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケジュールを含む、モニタリング及び評価の手段などを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを設計しているか		4	3	2	1	4
8	3	9	適切な評価体制を有し、学校評価(学習サービスの評価)が実施されているか(適格者によるモニタリング及び評価を実施できているか)		4	3	2	1	4
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか		4	3	2	1	4
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか		4	3	2	1	4
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		4	3	2	1	4
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか		4	3	2	1	4
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか		4	3	2	1	4
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか		4	3	2	1	4
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか		4	3	2	1	4
8	4	21	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか(モニタリング及び評価の結果を考慮して、学習サービスの改善・変更を実施しているか)		4	3	2	1	4

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					
8	4	41	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4	3	2	1	4		
8	4	42	学生及び保護者等が不満を抱えている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	3	2	1	4		
8	4	43	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができてきているか(苦情及び要請への対応を含む)	4	3	2	1	4		
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)							
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	4		
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	4		
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	4	3	2	1	4		

9 財務					適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1					評価平均
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)							
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4	3	2	1	4		
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	4	3	2	1	4		
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)							
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	4		
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	4	3	2	1	4		
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)							
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4	3	2	1	4		
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)							
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4	3	2	1	4		
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	4	3	2	1	4		

カテゴリー欄には、ABCのいずれかのほか、S:私立専門学校等評価研究機構、Q:QAPHE、 J:JAMOTEC、C:全専研の評価基準(凡例は最下段)					適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				
<b>10 社会貢献・地域貢献</b>					適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				評価平均
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1	4	
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1	4	
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	3	2	1	4	

<b>11 国際交流(必要に応じて)</b>					適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				評価平均
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)						
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1		
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1		
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1		
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1	4	